

## 実践記録（小6・国語）

### 1 ねらい

考えや意見を、共通点や相違点を基にして分類し、まとめることができる。

### 2 手立て

- 思考ツール集の活用

自分の考えを整理する場面や意見交流の際に、ロイロノート・スクールで作成した「思考ツール集」【資料1】を使用することで、目的に合う思考ツールを選択することができるようにする。グループ活動時には、どのツールを活用すれば、グループの考えや意見をまとめられるか考えさせることで、より効果的なツールを選択し、共通点や相違点を基にして分類することができるようにする。

（例：くわしくする→ピラミッドチャート、分ける→X/Y/Wチャートなど）

- クラウド型学習支援ツールの活用

共同編集機能を使い個人の考えを共有することで、互いの考えを比較しながら、グループとしての考えをまとめやすくなるようにする。

### 3 実践の様子




児童は、「思考ツール集」から自分の考えを整理するのに最適な思考ツールを選択して、考えを組み立てた。子どもは「思考ツール集」を確認しながら、「うれしさについて、理由と根拠を分けたいからX/Y/Wチャートを使おう。」「感じたこととその理由を書きたいから、ピラミッドチャートを使おう。」など、各自で思考ツール集を確認しながら、個人の考えや意見を分類していた。

その後、クラウド型学習支援ツールを活用して、意見を交流しながら共同編集を行った。子どもたちは、「みんなの考えと意見は理由があるからクラゲチャートでまとめよう」「みんなのうれしさには違いがあるから、比較できる綱引きチャートにしよう」など、考えや意見に応じた思考ツールを選択して、意見交流を行っていた。【資料2】意見交流では「この考え方は似ているね。」「これとこれは、全く逆の考え方だね。」と個々の考えを比較しながら、グループとしての考えをまとめていった。

発表の際には、グループでまとめた考えだけでなく、「そのツールを選択した理由」についても説明していた。各グループは、選んだツールの特性も説明しつつ、堂々と発表ができていた。しかし、考えとツールの特性が結び付かず、聞き手に考えが伝わらないグループもあった。

### 4 成果と課題

- 「思考ツール集」を活用したことで、目的に合った思考ツールを選択することができ、個人の考えや、意見交流をした際、考えの整理を行いやすくなった。
- クラウド型学習支援ツールを活用した共同編集を行うことで、互いの考えを簡単に共有することができ、それぞれの考えの共通点や相違点を基にして、グループの考えを整理することができた。
- 「思考ツール集」だけでは思考ツールの特性を理解できず、目的に合わない思考ツールにまとめる児童の姿が見られた。より多くの場面で思考ツールを活用させ、その目的と効果を実体験させる必要がある。

| どう使いたい？ | 何を使いたい？             | 使い方の例   |
|---------|---------------------|---|
| くわしくする  | ピラミッドチャート<br>(上から下) |  |
| 分ける     | X/Y/Wチャート           |  |
| 変化をとらえる | 同心円チャート             |  |

【資料1 「思考ツール集」の一部】



【資料2 意見交流で共同編集した資料】